

我孫子第三小学校 学校だより

Sunshine



学校 HP <http://ncsv.school-abiko.jp/abk3/htdocs/>

学校教育目標

自ら学び 支え合い たくましく生きる子の育成

令和4年度 3月号

TEL 7184-1171

令和4年度 学校評価アンケート結果について

令和4年度 学校評価アンケート結果についてお知らせします。

昨年度より、児童も含めた全ての回答を、記名方式によるオンラインアンケートとして実施しました。なお、オンラインアンケート実施にあたり質問項目が見つらいとのご指摘を受けたため、今回は、質問項目のみ紙媒体でも見られる形で配付しました。児童一人一人のご家庭での状況を反映したく、保護者の方には、家庭数ではなく児童数での回答をお願いして実施しています。

また、児童は、自分自身でタブレットを使って回答することから、低学年用（主にひらがな表記）高学年用（主に漢字表記）と分けて実施しました。そのことにより、低学年から高学年への変化についても回答に表れる結果となり、今後に生かすことができると考えています。

1. 実施日 保護者・教職員・令和5年1月17日（火）～1月25日（水）
2. 実施者及び回答率

| | 配付数（人） | 集計数（人） | 回収率 |
|-----|-------------|--------|-------|
| 教職員 | 39（回答対象者） | 39 | 100% |
| 保護者 | 731（児童数で回答） | 445 | 60.9% |
| 児童 | 731 | 701 | 95.8% |
| 全体 | 1501 | 1185 | 78.9% |

3. 学校運営協議会委員による学校評価の取組自体への評価（学校運営協議会 2/22 実施）

| 評価項目 | 良い | おおむね | あまり | 良くない |
|----------------|------|------|------|------|
| | | 良い | 良くない | |
| ① 学校評価の流れについて | 80% | 20% | 0% | 0% |
| ② 評価項目の妥当性について | 80% | 20% | 0% | 0% |
| ③ 評価の客観性について | 80% | 20% | 0% | 0% |
| ④ 評価に基づく改善について | 80% | 20% | 0% | 0% |
| ⑤ 情報の公開について | 100% | 0% | 0% | 0% |

学校運営協議会委員の方の評価はおおむねポジティブ回答となりました。しかし、小中一貫教育については、更なる周知を図る必要があるとの回答がありました。小中一貫教育とは、次年度中学生になる6年生だけが関係するものではありません。小学校入学から中学校卒業までの9年間通した教育のことです。保護者の方に周知できるよう努めていきます。

4. 集計結果の見方について

- ・ 集計結果の設問の文言は、児童アンケートに合わせています。教職員と保護者は、それぞれの立場に読み替えてご覧ください。

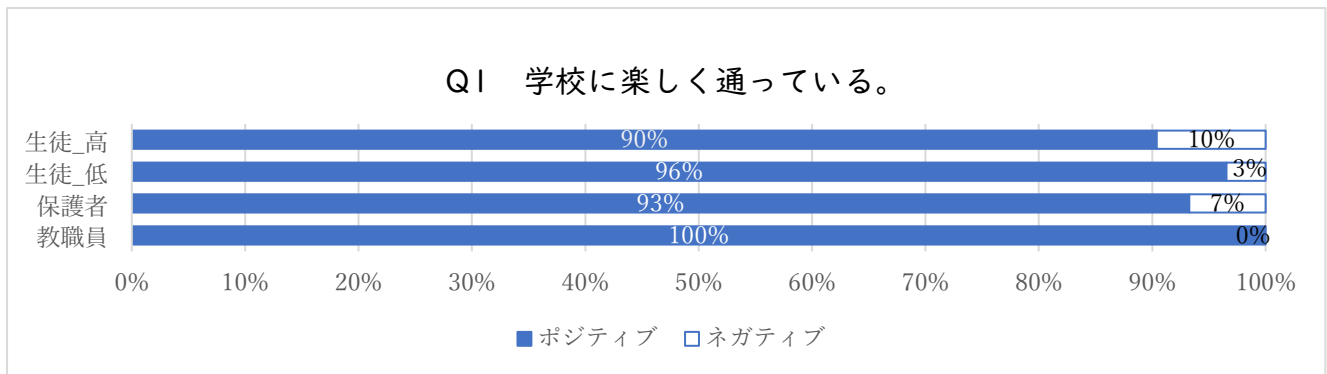
(例) 児童…「学習はわかりやすく、学んだことが身についている。」

保護者…「お子さんは、学習内容が身についている。」

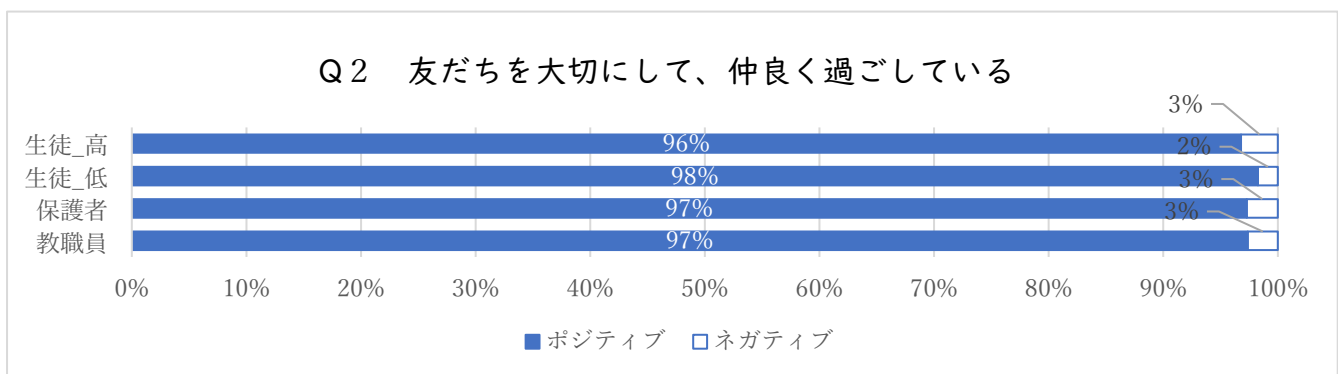
教職員…「児童は、学習内容が身についている。」

- ・ 「思う」「だいたい思う」の合計を「ポジティブ（肯定的）回答（評価）」と表記しました。
- ・ 「ポジティブ回答」が80%以上は、目的を概ね達成していると考えます。来年度もこのまま継続できるよう努力していきます。
- ・ 「ポジティブ回答」が80%未満は、何らかの課題があると考えます。その課題を明らかにし改善するよう努力していきます。

3. 回答の集計結果と分析・考察

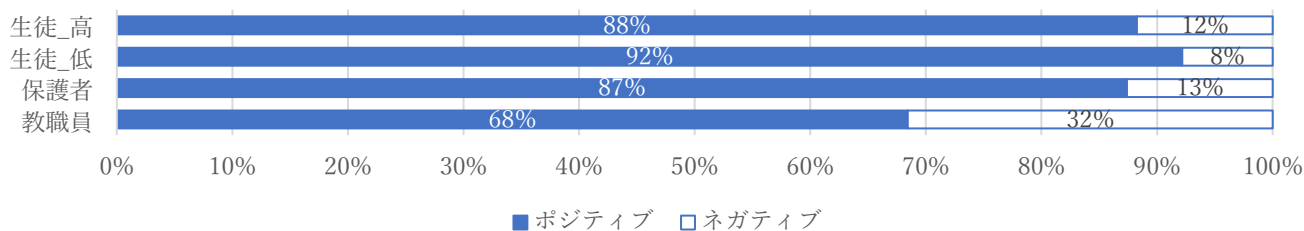


全ての対象者で90%を超えており、ポジティブな回答でした。昨年同様、高学年のポジティブ回答が低学年より下がっているのは気になるところです。成長するにつれて、様々な課題や困難にぶつかる機会が増えているのかもしれませんが。今後も、高学年に対して、学習や人間関係構築にあたって支援をしながら、学校生活の充実度を高めていけるよう努めていきます。



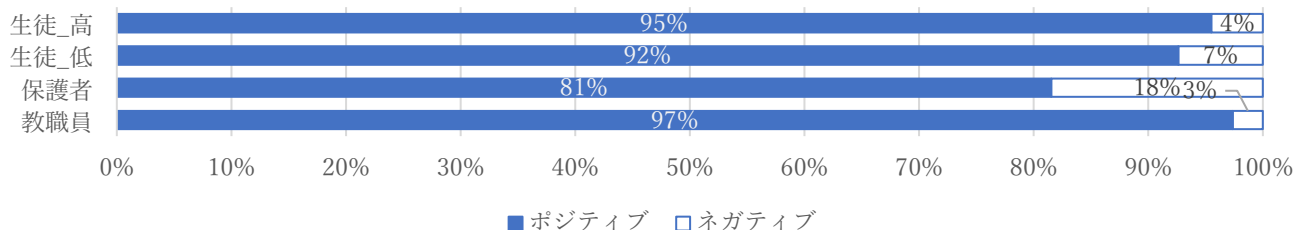
全ての対象者でポジティブ回答が95%を超えています。昨年度の保護者のポジティブ回答は75%でした。学校行事や授業参観が再開され、学校での様子を見ていただく機会が増えたこと、コロナの感染状況が落ち着いてきて、お子さんが友達と仲良く過ごす様子を見る機会が増えてきたことが要因としてあると考えています。

Q3 あいさつや返事を進んですることができる



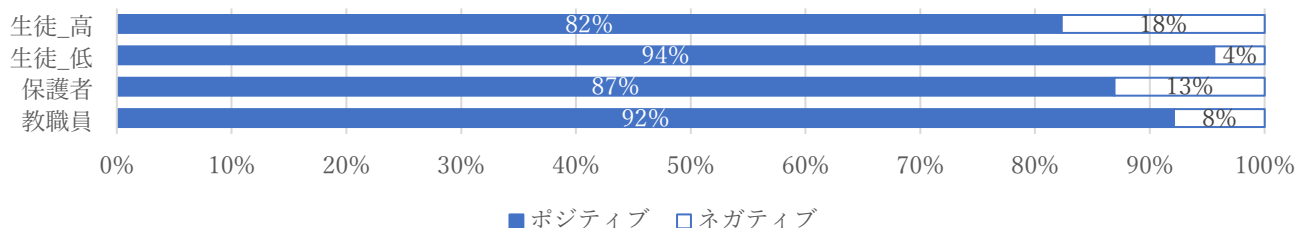
今年も、本校の生徒指導の重点として、あいさつができる児童の育成を目指して取り組んできました。その分、教職員の見方は厳しくなっているかもしれません。あいさつは、コミュニケーションの第一歩です。すぐにはできなくても、繰り返し指導しています。そして、学校での指導だけでなく、家庭内でのあいさつの習慣もとても大切です。保護者の方と協力して、相手を見てきちんとあいさつできる児童に育てていきたいと思ひます。

Q4 決まりを守って生活している

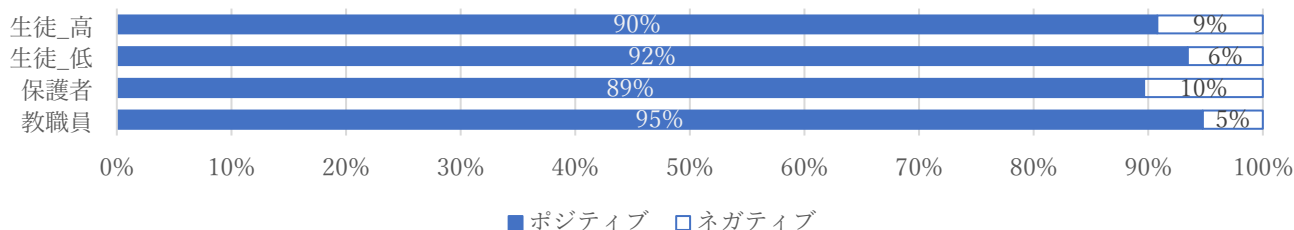


全対象ともポジティブ回答は、ともに目標を概ね達成しています。昨年度と同様に保護者の方のポジティブ回答が多少低くなっているのは、ゲームや手伝い等、家庭での約束事を守らせるのに苦慮されている部分があるのかもしれない。家では、つい、リラックスしてしまうのかもしれないね。学校では、集団生活の為、家庭とはちがったきまりが必要です。なぜそのきまりが必要なのかを一人一人が理解できるように話しながら指導していきます。

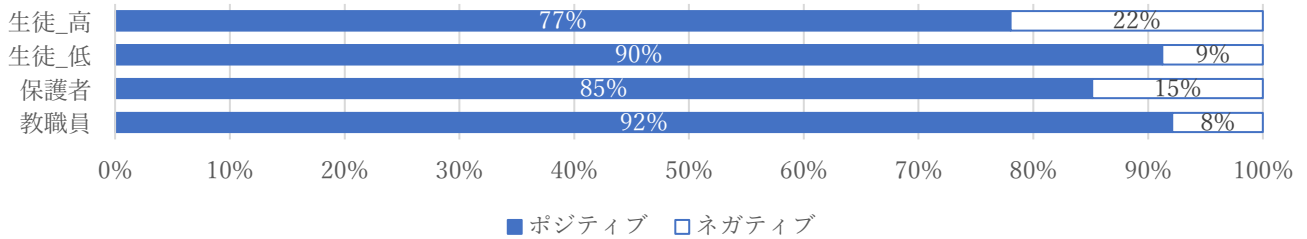
Q5 学習は楽しく、いろいろなことに興味がわく



Q6 学習はわかりやすく、学んだことが身についている

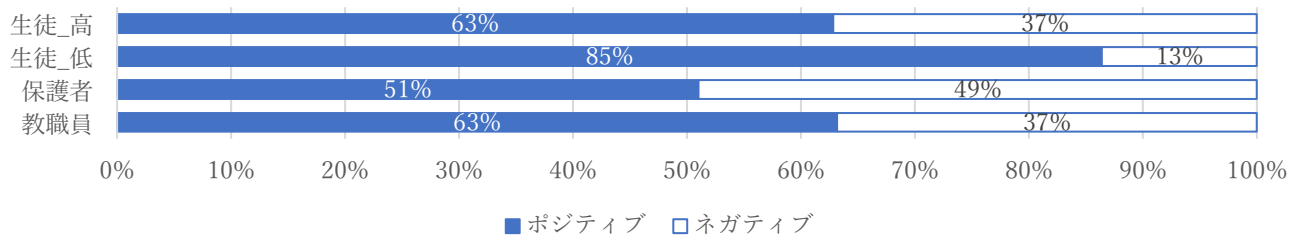


Q7 自分の考えを書いたり話したりして伝えることができる



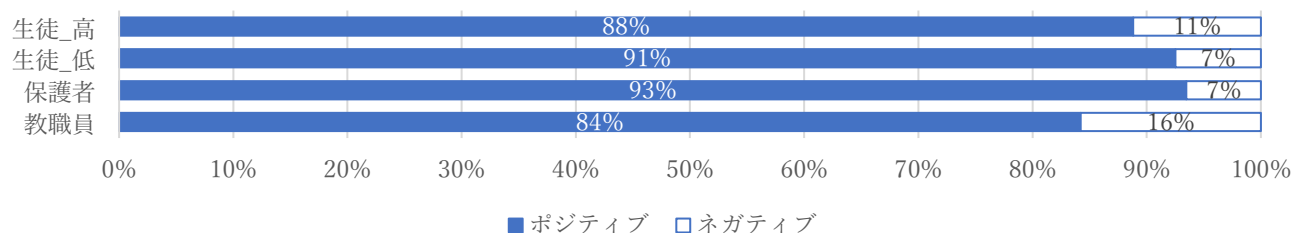
Q5からQ7までは、学習に関するアンケートです。Q5は、高学年で、昨年度ポジティブ回答76%から82%へと伸びました。Q7では、昨年度と比較し、低学年で79%→90%、高学年で66%→77%へと大きく伸びました。学校では、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、単に知識の伝達ではなく、児童が自ら考え、課題を持ち、探求しながら学習していけるよう工夫しています。また、これからの子どもたちに必要な資質として、コミュニケーション能力の育成にも取り組んでいます。これらの力は一朝一夕に付くものではありません。毎日の一時間一時間の学習の積み重ねがアンケート結果に表れているものと思います。

Q8 自分から進んで読書をしている

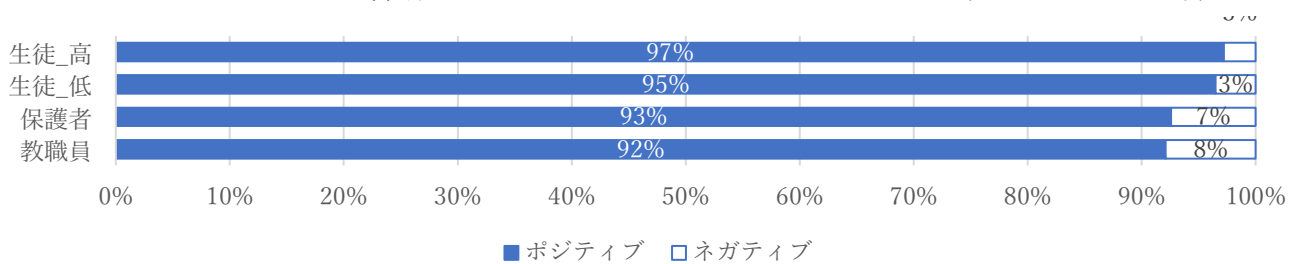


残念ながら、昨年同様、低学年以外はポジティブ回答が目標達成とはなりません。低学年は、週1回、読書の時間として図書室での学習を確保できています。高学年になるにつれ、他の学習内容が増えてくることから、読書として1時間を確保することは困難なのが実情です。しかし、教科を問わず、様々な単元に関連させ、その時に会わせたい本を提案する等、本に触れる機会を作れるよう工夫しています。図書室司書と司書教諭が協力し、図書委員会と連携した本の紹介活動やポップによる啓発活動も積極的に行ってきました。また、我孫子図書館からは、そよかぜ号が月2回のペースで来校しています。ボランティアさんによる「ひょうたんから本°」の読み聞かせ活動も今年度は再開しました。読書は、今現在の学力向上につながるだけでなく、生涯学び続ける姿勢につながる大きな要因の一つとなります。ご家庭でも、図書館を利用したり、親自身が一緒に本を読んだりしながら読書ができる環境を整えてみてください。

Q9 自分は青信号でも左右を確認するなど交通安全に気を付けている。

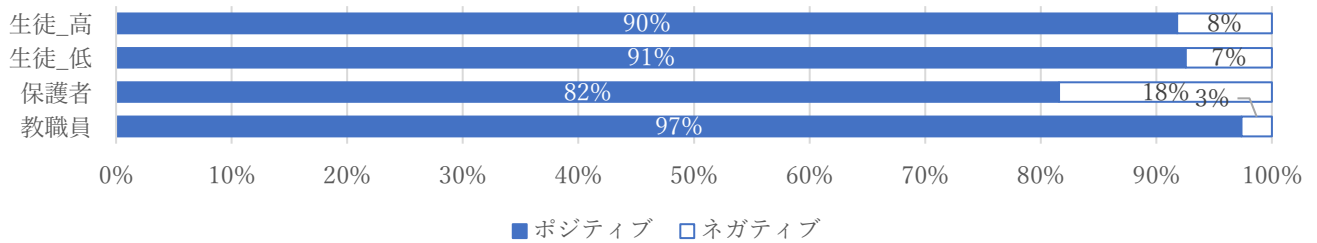


Q10 自分は不審者に会った時の対応がわかっている。(いかのおすし等)



Q9とQ10は安全教育に関するアンケートです。毎学期ごとの避難訓練を始め、日常的に交通安全や不審者対応について話をしています。特に、新聞やニュースで取り上げられた時には、時を逃さず、安全主任や生徒指導主任を中心に対処策について再確認する等、安全教育に努めています。ほぼ、どの項目でもポジティブ回答が目標を達成できており、成果が表れていると考えられます。様々な場面で、いつでもどこでも自分の大切な命を守っていけるよう指導を続けます。ご家庭のご協力をお願いいたします。

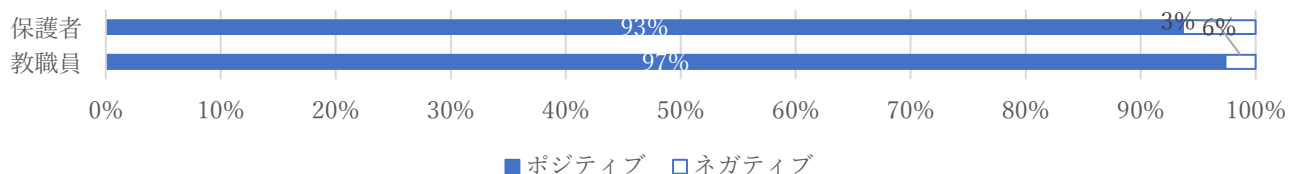
Q11 自分は困ったときに相談できる大人が親以外にもいる。(教師や祖父母等)



全対象者でポジティブ回答が目標を上回りました。学校には、心の相談室があり、心の相談員が週2回勤務しています。スクールカウンセラーも月2回来校しています。保護者のポジティブ回答が、昨年度の74%から82%に上がっていることから、心の相談室についても認知度が上がってきているのではないかと考えています。もちろん、相談室だけではなく、全教職員に安心して相談してもらえる関係を築いていけるよう、引き続き努めていきます。

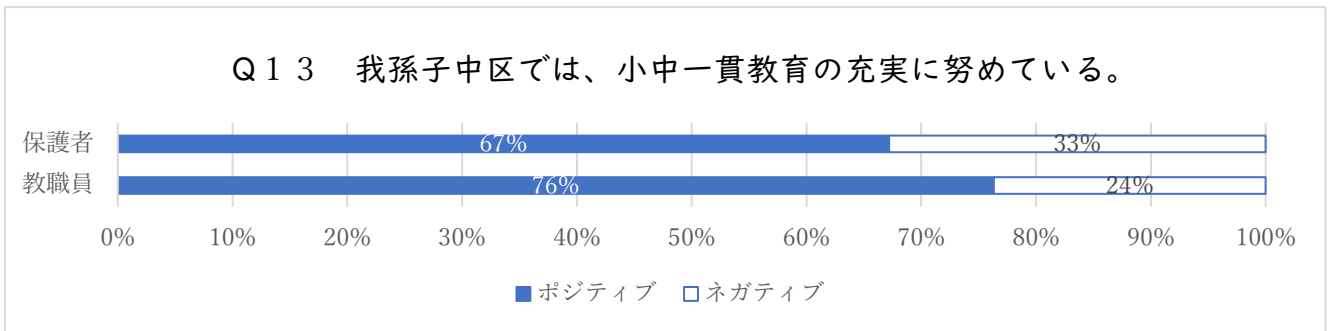
【保護者・教職員のみ実施のアンケート】

Q12 学校は教育方針や教育活動の内容を公開している。

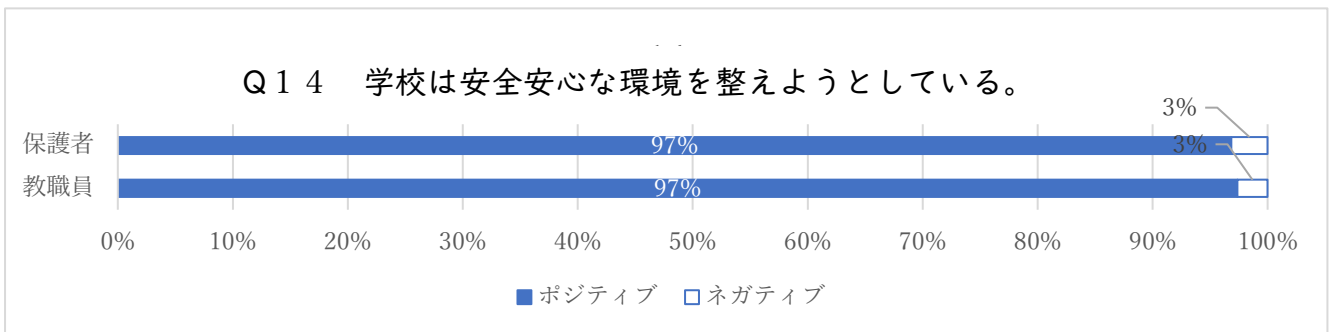


保護者の方からのポジティブ回答が、昨年度の88%から93%へと伸びました。教職員の回答は、66%から97%へと大きく伸びました。これは、学習参観や音楽フェスタ等、学校の教育活動を見ていただく機会がコロナ禍以前と同程度まで戻ってきたことが大きく関係していると考えています。学校ホームページの更新も、今年度は力を入れています。必要な情報を公開しつつ、守らなければならない情報もあ

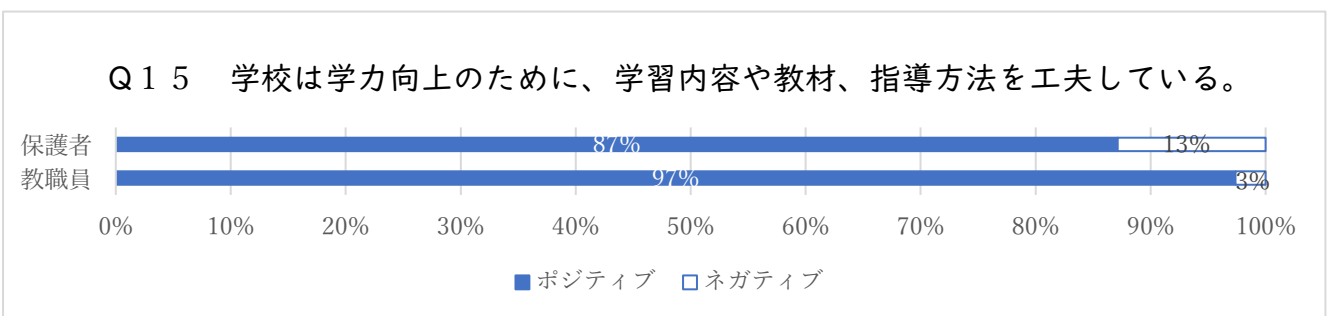
るため、ホームページの作成は簡単なことではありません。また、ホームページ作成にはある程度の時間の確保も必要です。様々な工夫をしながら、保護者の方に学校の方針を周知していけるよう今後も務めていきます。



この設問は、我孫子市内小中学校全ての学校評価に共通の項目として入れたものです。我孫子中学校区では、今年度、「小中一貫ブランドデザイン」を作成しました。これは、「15歳までに目指す生徒像」を明確にし、その姿にしていくために、何にどのように取り組むのかをデザインしたものです。その中で、各小学校の卒業までに、どのように育てていけばよいのか「12歳までに目指す児童像」をはっきりさせています。しかし、具体的に何が行われているのかは周知できていなかったのだと思います。来年度以降の課題としたいと思います。

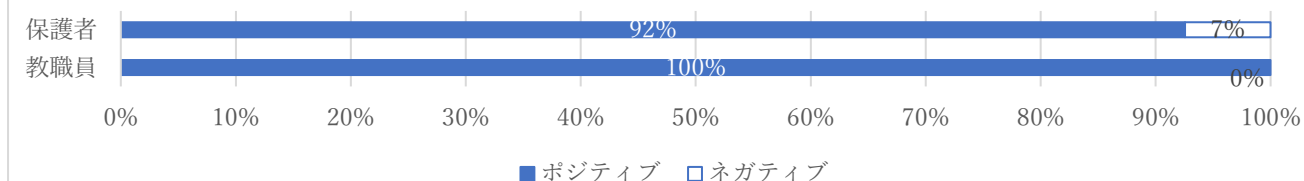


大人目線から学校が安全対策に努めているかを図る設問です。90%を超えるポジティブ回答を得られており、目標は達成できていると考えます。学校の安全対策は、安全に過ごしていくための環境整備とQ9とQ10のような児童自らが安全に過ごせるようにしていく安全教育の両輪で進めています。



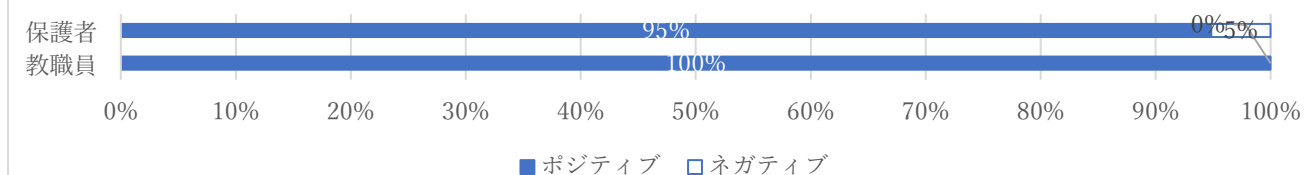
保護者の方のポジティブ回答が、昨年度の77%よりアップしました。やはり、学習参観で様子を見ていただけたことが大きいと思っています。我孫子第三小学校では、教職員が日ごろから熱心に研修を重ねています。今年度は、50回を超える研究授業を行い、お互いに授業を見合いながら切磋琢磨を続けてきました。が、日々の取組を、児童の学力向上につなげることで保護者の方にご理解いただけるよう努めてまいります。

Q16 学校は、保護者や児童の相談に丁寧に対応している。



保護者、教職員共にポジティブ回答の目標に届いています。「こんなこと、相談して大丈夫かな」と思わずに、何か心配なことがあったらご相談ください。保護者の方のコメント欄を見ても話をしたら解決できることがたくさんあると感じています。

Q17 学校は、PTAや地域、ボランティア等と協力して教育活動を運営している



今年度から、学校運営協議会制度が始まりました。学校と地域が学校経営方針を共有し、共に子ども達を育てて行こうという制度です。今年度は、制度について周知の年と考えて取り組んできました。そういったこともあってなのか、保護者、教職員ともにポジティブ回答が高くなっており、とてもありがたいと感じています。PTAについては、従来とは生活様式が変化していることから、活動の見直しや精選は必要な部分があるかもしれません。無理のない持続可能な活動をしていくことで、教育活動の充実を図っていきたいと考えています。より良い方法を模索しながら、保護者の方と共に児童の成長を見守っていけるよう、今後ともご協力をお願いいたします。